

2026年6月30日
長崎県南島原市
南島原市みんなの森守協議会
公益財団法人イオン環境財団

「南島原イオンの里山」環境省「自然共生サイト」に認定

—生物多様性保全を推進し「30by30目標」達成に向けて—

長崎県南島原市（市長 松本政博）と南島原市みんなの森守協議会（代表 長橋世紀）、公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下、当財団）が2010年から環境活動を継続的に取り組んでいる「南島原イオンの里山」が、本日付にて地域生物多様性活動促進増進法（2025年施行）により「自然共生サイト」に認定されました。生物多様性保全を推進し「30by30目標」達成に向けて環境活動を進めてまいります。

「南島原イオンの里山」のエリアは、1946年の開拓や1978年の無線送信所開発により森の水源涵養の機能が低下し、1990年に無線送信所が廃止後も荒廃したままとなっていました。水源涵養機能を回復させるため、2010年から3者は3年間の植樹で地域のボランティアの皆さま3,770名と20.5haに55,500本を植樹しました。

当里山は、植樹から16年が経過し、木々は大きく育ち様々な動植物が生息する森となっています。環境教育として、炭素蓄積量調査やタケノコ堀をはじめとした森林学習、さらには星座観察会などを実施し、この里山を訪れる周辺地域からの関係人口も増加しています。今回の認定はこの里山での動植物の生育や、さまざまな環境教育活動や今後の活動計画などが評価されたものです。

当財団は、他にも「30by30目標達成」に向け積極的に取り組んでおり、2024年宮崎県綾町の「綾町イオンの森」と隣接地「割付地区の日向夏畑」が「自然共生サイト」に認定されました。また、「自然共生社会の実現」を目指す国際的な取組みである「SATOYAMAイニシアティブ」に加盟し、世界に発信しています。

今後3者は連携して、地域の生態系サービスを支える生物多様性保全に注視した自然と共生する持続可能な循環型管理を実施するとともに、新たな付加価値創造に向けて取り組んでまいります。

※「30by30」とは、2022年採択された「昆明・モンテリオール生物多様性枠組」の2030年グローバルターゲットのひとつとして、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的な保全をしようとする目標です。

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと岡田卓也（当財団名誉理事長 イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境に特化した民間企業単独の財団法人として1990年に設立されました。現在は「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動しています。

■「植樹」事業

万里の長城での100万本を含め、国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに活動を継続実施しています。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹本数は、1991年から累計約1,287万本（2026年2月末時点）を越えています。

・南島原市での活動

植樹	植樹 (本)	参加者 (名)
第1回植樹 2010年11月21日 (日)	20,000	1,320
第2回植樹 2011年11月23日 (水・祝)	16,000	1,150
第3回植樹 2012年11月23日 (金・祝)	19,500	1,300
第1回育樹 2025年12月 6日 (土)		300
合計	55,500	4,070

・南島原市以外

植樹・育樹	目的	植樹 (本)	参加者 (名)
大分県竹田市 (2016年～2018年)	伐採跡地の森林の再生	23,300	1,900
宮崎県綾町 (2013年～2025年)	伐採跡地の森林の再生	21,200	3,670

■「助成」事業

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額1億円の助成を行っています。2025年までの35年間で累計3,657団体、助成金額は32億9,235万円となりました。長崎県における、助成団体は累計18団体、累計助成金額は839万円です。

■「環境教育・共同研究」事業

国際的な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しています。大学連携では、京都大学・千葉大学・東京大学・東北大学・早稲田大学と、地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムをスタートしました。また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生物多様性や地質遺産の保全と利活用による持続可能な地域社会を目指し連携しています。



第1回植樹活動
2010年11月



育樹活動
2025年12月